

経営学コース履修モデル例 1

<情報処理論を専攻とする研究者をめざす人>

情報処理論を専攻することで、コンピュータシステムの基盤技術を理解し、その応用分野について研究をします。この分野の研究者には、さまざまなアルゴリズムやそれに関連する数学を理解し使いこなす能力が要求されます。また、次々と新しい技術が次々と生み出されてくるため、常に最新の技術に興味を持って学修をしなければなりません。特に最新の技術は、英語論文として発表されることが多いため、それらを理解する能力も必要となります。この履修モデルは、情報処理と確率統計を基底とし、コンピュータサイエンス分野の研究者として基礎となる力を養うことを目的とした履修科目群です。

	1 年次		2 年次	
科目	演習（情報処理論） 情報処理論特殊講義 確率モデル特殊講義	統計解析特殊講義 情報数理特殊講義 外国文献研究（英）	演習（情報処理論） 未来情報特殊講義 経営情報と地理情報科学（GIS）特殊講義	修士論文

経営学コース履修モデル例 2

<財務活動の実務に従事しており、財務活動を中心に企業経営の考え方を深めたい人>

ファイナンス理論は、企業をめぐる資金の効率化を考えるだけでなく、資金の効率化を可能にする組織基盤についてもその考察の対象としています。組織基盤が脆弱であれば、効率化を成立させるはずの意思決定が円滑に行われないことがあるため、財務活動を中心に企業経営についての考え方を深めようとするのであれば、ファイナンスの周辺知識だけでなく、マネジメントについての考え方にもより多く触れることが重要になるでしょう。この履修モデルは、ファイナンスの周辺知識を修得するとともに、マネジメントについても様々な考え方に触れる人のための参考科目群です。

	1 年次		2 年次	
科目	演習（ファイナンス理論） ファイナンス理論特殊講義 金融論特殊講義	マネジメント理論特殊講義 管理会計論特殊講義* 財務会計論特殊講義*	演習（ファイナンス理論） 国際経営論特殊講義 労務管理論特殊講義	修士論文

*「管理会計論特殊講義」と「財務会計論特殊講義」は会計学・税法コースの科目。

経営学コース履修モデル例 3

＜マーケティングの実務に従事しており、理論を学び知識の再構築をしたい人＞

マーケティング研究は、市場のニーズを探りそれを充たす企業、とりわけ製造業者の活動を中心に分析します。ゆえに当該研究を行なうためには、マーケティングに係る科目であるマーケティング、流通、国際マーケティングはもちろんのこと、市場のニーズを分析するために統計解析や地理情報科学についても学ぶことが求められます。さらに、今日のマーケティングには国際的な視座が必須のため、国際経営についての知識も求められます。この履修モデルは、よりマーケティングのプロフェッショナルになるために必要な理論を体得する人のための参考科目群です。

	1 年次		2 年次	
科目	演習（マーケティング論）	国際マーケティング論特殊講義	演習（マーケティング論）	修士論文
	マーケティング論特殊講義	統計解析特殊講義	経営情報と地理情報科学（GIS）特殊講義	
	流通論特殊講義	外国文献研究（英）	国際経営論特殊講義	